

社 会

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 3年 ア 身近な地域や市町について、人々の生活との関連を踏まえて理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うよう配慮されているか。 イ 地図帳や各種の具体的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うよう工夫されているか。
	(5) 4年 ア 自分たちの県について、人々の生活との関連を踏まえて理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うよう配慮されているか。 イ 地図帳や各種の具体的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うよう工夫されているか。
	(6) 5年 ア 我が国の国土の地理的環境や産業の現状について、国民生活との関連を踏まえて理解を深め、我が国の国土に対する愛情や産業の発展を願い将来を担う国民としての自覚を養うよう配慮されているか。 イ 地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うよう工夫されているか。
	(7) 6年 ア 我が国の政治、先人の業績や優れた文化遺産、国際社会における我が国の役割について理解を深め、平和を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うよう配慮されているか。 イ 地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 「教科の特質に於いて、教育の目的及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成と目指す人間像」の育成に資する内容、構成と目指しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日の課題である防災・キャリア・ICT・エネルギー等にかかわって、児童が身近に感じ取ることができるような内容を取り上げ、社会の様々な側面に気付かせることで、進んで社会に参画していこうとする意識を高めることができるよう配慮されている。 様々な分野で活動する人々の話を取り上げるとともに、学習の成果を生かして自分たちにできることを考えたり、異なる立場から考えたりする学習場面を設定することで、社会の中で自らできることを考え行動していこうとする態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> これからのまちづくりや自らの行動等について考える場を設定し、学習した事象を基にさらに認識を深めたり自らのくらしと関連付けさせたりすることで、多面的に社会を見つめ、行動していくことの大切さを意識できるよう配慮されている。 様々な立場で社会に参画している人々の話を紹介するコーナーでは、活動の様子や思いを身近に感じさせ、産業や伝統文化に対する児童の理解が深まるようにすることで、社会の多様性に目を向け、多角的に社会を見つめて行動しようとする態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数単元で「わたしたちの学びを生かそう」を設定し、人権や福祉、環境問題等の今日の課題を意図的に取り上げて考えさせることで、社会の様々な事象について深く考えたり、かかわったりしていこうとする意識を高めることができるよう配慮されている。 単元の終末に、「私たちにできることを考えよう」や「これからの工業生産のあり方を考えよう」等のテーマを設けて考えさせることで、よりよい社会の形成に参画し、自らの役割や責任を果たしていこうとする態度を養うことができるよう配慮されている。
	<p>(2) つるさつと長崎の伝統・文化や歴史、自然に親しみながら学習できる内容になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5年の水産業の学習では、長崎市のまき網漁の水揚げから店に並ぶまでと、水産センターのつくり育てる漁業やかまぼこ工場の様子を、文や写真、地図を使って紹介し、本県と水産業の密接な関係に気付くことができる内容になっている。 6年の歴史学習では、島原・天草一揆や貿易拠点としての出島、朝鮮交流の窓口となった対馬を文と絵で取り上げ、本県が歴史の中で果たしてきた役割に気付くとともに歴史や文化に親しみながら学習を進めることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年の自然災害の学習では、雲仙普賢岳の噴火の状況と南島原市の噴火被害遺構（校舎）について文や写真を使って紹介し、自然災害の恐ろしさやそれにかかわる取組について身近なこととして感じながら学習できる内容になっている。 6年の歴史学習では、対馬藩の倭館、島原市の青い目の人形、朝鮮通信使の世界記憶遺産登録などが紹介され、本県が古くから国際交流において大きな役割を果たしてきたことに気付くとともに歴史や文化に親しみながら学習を進めることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4年の「くらしのなかに伝わる願い」では、本県に残る行事や、橋や教会等の建造物とそれらの保存にかかわる取組を文や写真、絵を使って詳細に紹介し、行事や施設にかかわる人の思いや願いについて身近に感じながら学習できる内容になっている。 6年の歴史学習では、島原・天草一揆や貿易拠点としての出島、朝鮮交流の窓口となった対馬を、文と絵、写真で詳しく取り上げ、本県が歴史の中で果たしてきた役割に気付くとともに歴史や文化に親しみながら学習を進めることができるようになっている。

Ⅲ 具体項目

社会

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基本的・基礎的な知識・技能が確得されるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ことば」のコーナーを設け、学習する上で重要な語句を示したり、専門用語を解説したりすることで、基礎的・基本的な知識が習得されるよう工夫されている。 各単元の「まとめる」では、学習内容を分かりやすくまとめた例を示したり、既習の学習内容を書き込めるようにしたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能が習得されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「キーワード」のコーナーを設けて課題解決に必要な学習用語を示し、必要に応じて解説を付記することで、基礎的・基本的な知識が習得されるよう工夫されている。 「学びのてびき」のコーナーでは、情報の集め方、資料の読み取り方等を解説することで、基礎的・基本的な知識・技能が習得されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「むずかしいことば」、「キーワード」のコーナーを設け、専門用語や重要語を分かりやすく解説することで、基礎的・基本的な知識が習得されるよう工夫されている。 「学び方・調べ方コーナー」では、グラフの読み取り方、意見交換会の仕方などを解説することで、基礎的・基本的な知識・技能が習得されるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」に整理して示すことで、課題を追究したり解決したりする学習活動を促し、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう工夫されている。 社会的な見方・考え方を四つの視点で整理した問いを示すことで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に学習の進め方を示すモデル図を掲載することで、知識・技能を活用する道筋が示され、課題を追究したり解決したりする学習活動を促し、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう工夫されている。 各見開きに、各時間の中心となる問いや次につながる問いを示し、問題解決的な学習を促すことで、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめには見開きを使って写真や絵、図を紹介することで、児童の疑問から課題を追究したり解決したりする活動を促し、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう工夫されている。 「見方・考え方コーナー」では、視点を「空間」「時間」「関係」の三つに分けて示すことで、問題解決的な学習を促し、思考力・判断力・表現力等が育成されるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コラム欄で学習に関連するエピソードや学びを深める話を紹介することで、社会的事象に対する関心を高め、主体的に学習が進められるよう工夫されている。 問題解決的な学習の流れや、「まなびのポイント」を明示することで、見通しをもって課題に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ひろげる」では、学びを広げたり、深めたりすることができる題材を取り上げることで、主体的に学習が進められるよう工夫されている。 本時の問いと次につながる問いを示すことで、課題解決に進んで取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしたちの学びを生かそう」では、児童が自主的に調べたいと思う内容を取り上げることで、主体的に学習が進められるよう工夫されている。 キャラクターに疑問を発言させて児童の疑問を焦点化することで、課題解決に進んで取り組むことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) さすて、ア れとる誇理人身 てしてのと愛情、 の自覚を養うよう か。配のに踏 慮一対まい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で働く関係者の話を掲載し、身近な地域と自分の生活との関わりに触れさせることで、生活との関連を踏まえた理解を深めさせるよう工夫されている。 ・「市のようす」では、古くから残る建造物やまちについて、歴史や伝統を紹介し、特徴やよさの調べ方を示すことで、地域社会に対する誇りと愛情を養うよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レシートや救助袋など身近なところで目にして物や避難訓練などの身近な出来事を、資料や題材として効果的に取り入れることで、生活との関連を踏まえた理解を深めさせるよう工夫されている。 ・「火事からまちを守る」では、児童が自分の生活と関連付けた気付きや考えを話し合い発表したり、自分たちにできることを標語にしたりすることで、地域社会の一員としての自覚を養うよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代の地域住民や関係者など、身近にいる多様な人たちからの話を幅広く掲載することで、生活との関連を踏まえた理解を深めさせるよう工夫されている。 ・「安全なくらしを守る」では、自分たちにできることを話し合ったり、発表会をしたり、ノートのとめ方を提示したりすることで、地域社会の一員としての自覚を養うよう配慮されている。
	<p>3 年 工判を課イ 夫断促す。地 されたことと追 を表現する力 を養うよう 活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵地図や写真、吹き出しなどを組み合わせて分かりやすく構造的に提示することで、学習に見通しをもたせ、課題を追究したり解決したりする活動を促すことができるよう工夫されている。 ・「まとめる」では、しょうかい地図やせんでんシール、壁新聞の作成、ワークシートへの記入など多様な言語活動を設定することで、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ、写真、絵、図を分かりやすく提示したり、関係のある人々の話を吹き出し等にして紹介したりすることで、学習に関心をもたせ、課題を追究したり解決したりする活動を促すことができるよう工夫されている。 ・「店ではたらく人と仕事」では、学習したことを、身近な商店街などへ広げる活動を提示することで、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフについて、単位や色付け・形等を分かりやすく提示し、関連付けたレイアウトをすることで、学習のまとめ方をイメージさせ、課題を追究したり解決したりする活動を促すことができるよう工夫されている。 ・「わたしたちの学びを生かそう」では、児童が自主的に調べ学習を展開できるような内容を見開きで表示することで、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うよう工夫されている。
	<p>(5) よ地生ア 配め、活自分 慮社会、とた されての社会 ているのの一 か。員として の自覚を養 う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「きょう土の伝統・文化と先人たち」や「古いまちなみを生かすまち」では、古くから残る建造物や地域の伝統的な文化を調べる学習を随所に設けることで、地域に対する誇りと愛情をもつことができるよう工夫されている。 ・「いかす」での学習では、水の使い方やごみを減らす手立てを考えたり、特色ある地域と自分たちのまちの良さを伝える活動を仕組んだりすることで、児童が地域社会の一員としての自覚を養うよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「昔から今へと続くまちづくり」や「わたしたちの県のまちづくり」では、それぞれ新田開発・用水路開削・焼き物づくりが、生活をよりよくするための活動であることに気付かせることで、人々の生活の様子や変化についての理解を深めることができるよう工夫されている。 ・「地域でうけつがれてきたもの」では、徳島県の阿波踊りが大切に受けつがれてきたことを取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度を育てることを通して、地域社会の一員としての自覚を養うよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害から人々を守る活動」では、事例として東京都の水害を取り上げ、地域の人々の努力や工夫、関連機関との協力・連携を紹介することで、自然災害に対する人々の様々な備えや願いを理解することができるよう工夫されている。 ・「くらしの中に伝わる願い」では、長崎県の歴史のある古い建物や、地域に昔から伝わる祭りを単元を通して取り上げることで、長崎県に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(7) るしをがれア かてを国た の願の文我 自の役化が 覚我割遺国 をがに産の 養国つ、政 うのい国治 よ得て際、 社う来理先 配解会人 慮担をに業 さう深にお績 れ国め、るや いと平我優</p>	<ul style="list-style-type: none"> 政治・国際理解の「いかす」では、国際交流、紛争や難民等のテーマを設定し、国際社会における我が国の役割を考えさせることで、平和を願い、我が国の将来を担う国民としての自覚を養うよう配慮されている。 我が国の政治や文化の発展に寄与した人々、能楽や歌舞伎、浮世絵などの文化等について、コラム欄を設け、紹介することで、先人の業績や文化遺産について理解が深められるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の政治、歴史及び国際理解の導入では、オリンピック・パラリンピックを題材にして、学習の進め方を示したり、参加する人々の願いを紹介したりすることで、政治や国際社会における我が国の役割について理解が深められるよう配慮されている。 「歴史の学び方をナビゲーション」では、史跡・博物館・画像資料・年表などを活用する歴史の基本的な学習方法について解説した特設ページを設定することで、歴史への興味・関心を高められるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 政治学習の導入では、各学年で学習した政治にかかわる学習を振り返る工夫がされるとともに、学童保育と待機児童等の身近な事例から我が国の今日的課題を示すことで、政治への興味・関心が高められるよう配慮されている。 各時代の生活の様子やシルクロードの絵地図を見開きページで示したり、国際社会で活躍する日本人を紹介したりすることで、我が国の歴史や国際社会における役割についての理解が深められるよう配慮されている。
	<p>6 年 うをを的イ よ説促資 明す料地 工明す料地 夫したと基 さりとに帳 されてに、や いるそ、地 か。考え球 を、儀 追究統 たこと計 に議たり 論選解 決した表 たり。の 判各 断し種 するの 力た活 をこ動 養と礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 政治・国際理解の「いかす」では、新聞を読んで気になった記事を出し合ったり、「まとめる」において日本とつながりの深い国について調べたことを基に意見文を書いて発表したりする場面を設定することで、選択・判断したことを説明する力を養うよう工夫されている。 巻頭に歴史学習の基本として、博物館見学のポイントや年表の見方等を紹介したり、各単元の「まとめる」においてミニパネルディスカッションやキャッチフレーズづくり等を設定したりすることで、課題を追究したり議論したりする力を養うよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生まれた子どもの数と高齢者の割合を表したグラフや、投票率の変化を表したグラフ、模擬投票の事例などを取り上げることで、社会的事象の意味を考えたり、議論したりする力を養うよう工夫されている。 折り込みの年表や、各単元の冒頭に簡略な年表が示され、歴史的な事象を年表等に整理したり、歴史上の人物の立場からインタビューに答えたりする活動を設定することで、資料を基に課題を追究したり解決したりする活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や地方の政治の学習では、話し合いやノートの使い方を例示するとともに、学習資料や見方・考え方の欄を設定することで、広い視野から社会的な事象を考えたり、資料を効果的に活用したりすることができるよう工夫されている。 見開きの江戸図屏風を基に問題づくりを話し合ったり、領土や国境をめぐる課題を紹介したりする特設ページを設けることで、歴史的な事象について考えたり、説明したりする力を養うよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

社会

観点	発行者 東 書	教 出	日 文
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記事内容となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5年の水産業の単元では、10ページにわたって長崎漁港を取り上げ、漁法やとった魚の流通、養殖・栽培漁業、水産加工品の生産について、学習上重要なキーワードを「ことば」として明示したり、働く人の話や写真などを用いたりして分かりやすくまとめている。 5年の工業の大単元では、本文・会話文・写真や統計資料を用いて優れた製品が生産されていることを分かりやすくまとめたり、12名の働く人の話を取り上げて仕事に携わる人々の思いや願いを共感的に理解できるようにしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年の地域で働く人を取り上げた単元では、会話文・働く人の話・写真や地図・鳥瞰図を用いて、生産や販売の仕事が地域の人々の生活と密接にかかわっていることを分かりやすくまとめている。 6年の歴史単元では、資料ページを適宜設け、当時の世界とのかかわりについて、人物やできごとなどを通して学びを広げることができるようにしたり、人物名を付した小見出しを設け、歴史的事象との結びつきをとらえやすくしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年の市の様子の移り変わりの単元では、写真や地図、挿絵など豊富な資料と学習活動・子どもの発言・学習内容の三つに分けた本文で、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いを分かりやすくまとめている。 4年の県内の伝統や文化の単元では、20ページにわたって長崎県の大浦天主堂や長崎くんちを取り上げ、会話文や本文、写真や地図、人々の話を用いて、文化財や年中行事を受け継いできた人々の願いや努力を分かりやすくまとめている。
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などにも十分に配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年の巻末に1年間で学んだことを振り返ることができるページや索引を設けることで、学習した言葉や事柄、地名、国名、人物など既習事項の確認ができるよう工夫されている。 全学年、資料の読み取り方や学習の進め方、まとめ方を示した「まなび方コーナー」を随所に設けることで、学習活動が円滑に進められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や資料の配置を工夫したり、その近くに視点や方法を示唆した吹き出しを設けたりすることで、社会的事象の見方・考え方を働かせて学習を進めることができるようにしている。 全学年、学習問題の立て方、学習計画の立て方、情報の集め方、資料の読み取り方、学習の整理の仕方、表現活動の仕方について解説した「学びのてびき」のコーナーを適宜設けることで、どのようにして学べばよいのかをとらえやすくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入ページを、強い印象を与える写真やイラストを中心に構成することで、追究意欲や興味・関心を高めることができるようにしている。 資料の読み取り方や見学・観察などの仕方について解説した「学び方・調べ方コーナー」や考えを深めるための視点と方法を示した「見方・考え方コーナー」を設けることで、学びを深めることができるよう工夫されている。
	<p>(3) 大きさやレイアウトや色紙、文字の配慮など、適切に配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文と資料が区別できるように配置したり、写真や図表などの資料に、見開き単位で番号を付けたりすることで、読みやすく、学習場面で使いやすくなるよう工夫されている。 ルビを比較的大きな文字にして本文が読みやすいようにしたり、5年と6年は分冊にしたりすることで、児童の取り扱いがしやすいように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の内容を見開き2ページで構成したり、3、4年では発達の段階を踏まえて、各時間における学習の進め方を3段階で示したりすることで、学習と指導の両面で分かりやすく、見通しをもちやすいよう工夫されている。 装丁には汚れにくい加工を施したり、本文を太目の文字にしたりすることで、扱い易さや読みやすさに配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容についての情報や資料、追究過程を見開きページにまとめ、問題解決的な学習をスムーズに進められるようにしたり、写真や図表などの資料には図版番号を付したりすることで、様々な学習場面で使いやすいう工夫されている。 本文を学習活動、気付きや疑問、学習内容の三つに分けて整理し、文字の大きさや区切り線で区別することで、学習場面をイメージしながら読みやすくなるよう配慮されている。